

目指す児童像

思いやりのある
よく考える
明るく元気な
進んではたらく

海道小だより

第 9 号

平成31年1月発行
宇都宮市立海道小学校
校長 高島 俊幸

お天気が続く、年明け。インフルエンザははやってきましたが、明るい日差しを浴びて、子どもたちは今年も元気に活動しています。

海道小学校の年明けです。

学校づくりへの取組

よく考える子ども

◇ 冬休み明け朝会

1月8日の朝会で「? (はてな)」と「考える」というお話をしました。「お風呂や洗面台にたまった水は、排水するとき、北半球は左巻きで流れ、南半球は右巻きで流れていく」という話を聞いたことがあると思います。ふと、本当なのかと思い、家で流してみたところ我が家は南半球の右巻きでした。謎です。(実際は、作りによって違うそうです。)

「考える」については、藤原正彦さん(「国家の品格」の著者)が、自分の子どもの日常の発見を報告させ、「大発見・中発見・小発見」と評価していた話をしました。例えば、「パパ、発見したよ。ガソリンスタンドはたいてい道路の角にあるよ」

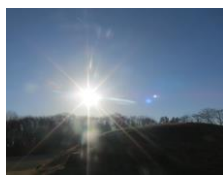
「パパ、ラーメンのスープに浮いているネギはどんぶりを回してもこっちに来ないよ」など。その後、藤原家では家族でその理由を自由に言い合っていたそうです。子供なりに、たくさん「考えて」いたのです。今の時代は、インターネットなどですぐに調べることはできますが、普段の学習や日常の中で、「?」と思うことや「発見したこと」などから「考え」たり「考えを自由に話し合ったり」することが、とても大切だと思っています。

◇ 避難訓練(1月11日)

今回の訓練は、予告なしで業間に行いました。

児童は緊急地震速報を聞き、校内では机の下にもぐる、校庭では中央付近でしゃがむなど、身を守る行動をとりました。その後、家庭科室から火災発生の放送を聞き、適切な経路を自分で判断し、安全に避難しました。

校庭では、家庭科室の方向と煙の流れを確認し、先生がいなくても、放送をよく聞き、どこを通過して避難すればいいか自分で考えることが大切だと、子どもたちに話しました。



元気な子ども ～あいさつ隊～

本校では、日常のあいさつはもちろんのこと、各クラスから有志を募って「あいさつ隊」が組織されています。「あいさつ隊」に入隊した児童は、あいさつ励行のたすきをかけ、意気揚々と各クラスや職員室を回って、元気な挨拶をします。やる気に満ち溢れた子どもたちの姿に、どのクラスの児童も先生も、今日一日元気にがんばろうと思うことでしょう。



家庭・地域とともにある学校

◇ 生産者交流給食会（1月23日）

安全で新鮮、愛情たっぷりのお米、大豆、ねぎ、白菜、梨を育て、本校に届けていただいている4人の生産者の方を招き、3年生、6年生と給食を一緒に食べ、交流していただきました。当日の給食は、豊郷野菜の中華煮やかんぴょうのごま味噌あえ、餃子ご飯など、地域の食材をふんだんに使った献立でした。生産者の方から、作物にまつわる話を聞き、農産物への理解を深めるとともに、感謝の気持ちを高め、給食のありがたさを実感しました。



◇ 学校保健・食育委員会（1月24日）

本委員会の目的は、本校の健康・食育に関する取組について協議し、児童一人一人が、健康体力を増進するとともに、心身の健康に目を向けたり、食の大切さを理解したり、望ましい食習慣を身につけられるようにするためのものです。

P T A役員、体育委員、厚生委員の皆様にご参加いただきました。給食の試食や本校の児童の実態についての報告の後に、学校薬剤師の田中賢一先生のお薬に関するご講話を聞き、研修を深めました。



お知らせ：体罰やいじめのない明るく風通しのよい学校を目指して～相談機会を設けます～

体罰は児童の身体や心を傷つける人権侵害行為であるとの考えのもと、市と学校が一体となり、体罰根絶の取組を進めています。また、昨年H29年度のいじめについての市教委への報告件数はゼロ件でありましたが、これからも、不適切な指導やいじめの根絶、教職員の指導力向上のため、全小中学校において、保護者の皆様から直接話を聞く機会を設けることとしました。電話相談、面談ともに可です。本校の実施日は次の2日です。窓口は校長、副校長です。
2月7日（木）9:00～12:00 / 2月8日（金）9:00～12:00 ☎661-6620